

妻鳥陵墓参考地

「古事記」「日本書紀」に登場
きなしのかるのみこ
木梨輕皇子伝説がここに

東宮山古墳展

2024.10.1 [TUE] - 12.8 [SUN] 9:00 ▶ 17:00

四国中央市歴史考古博物館 - 高原ミュージアム -

入館無料

宮内庁に遺る遺宝
40年ぶりの里帰り

妻鳥町にある東宮山古墳

別名を「妻鳥陵墓参考地」という

「東宮」とは、皇太子の居所を意味し、
「陵墓」とは、歴代の皇室関係の墓所を示す

今からちょうど130年前

妻鳥村から警察署に報告書が提出された

「奇穴発見」

翌年、東宮山古墳は「陵墓参考地」に定められ

宮内庁の管理するところとなった

現在、宮内庁書陵部には

東宮山古墳から発見された副葬品

約300点が所蔵されている

今回、市発足20周年を記念して

宮内庁所蔵資料のうち

特別に許可された約240点が

四国中央市に里帰りする

東宮山古墳

青銅製馬鐙

鹿角製舌

三葉環頭柄頭

銅鈴

金環

ココ



記念講演会

10.26 (土) 13:00 - 16:00

- 講演 -

妻鳥陵墓参考地

「東宮山古墳」出土資料

- 講師 -

土屋隆史

Takafumi Tsuchiya

(宮内庁書陵部陵墓課陵墓調査室 主任研究官)

- 講演 -

東宮山古墳の発見経緯と

陵墓参考地治定

- 講師 -

富田尚夫

Hisao Tomita

(県歴史文化博物館 専門学芸員)

- 定員 -

40人程度

聴講無料 事前申込者優先

- 申込開始 -

10.10 (木)

ギャラリートーク

10.20 (日) 10:00 - 11:00

学芸員による展示解説会

参加無料

来館特典あり
詳しくはこちら



申し込み・問い合わせ先

四国中央市歴史考古博物館

- 高原ミュージアム -

川之江町 2217-83 ☎ 28-6260

水晶製切子玉